

## 令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新宿-木曽福島線高速バス利用促進対策事業
事業主体 (連絡先)	木曽観光連盟 (0264-23-1122)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	700,472円(うち支援金:366,000円)

### 事業内容

新宿-木曽福島線高速バスを利用した旅行商品の販売促進を図るため、その販売を依頼している京王観光(株)の担当者を木曽へ招聘して、木曽エリアの代表的な観光スポットおよび、提携宿泊施設を視察していただくことで、今後のより効果的な販売活動に役立てていただくため、以下の事業を実施した。

- ・モニターツアーの実施:9月19日(木)~20日(金)

### 事業効果

- ①モニターツアーの参加者は、具体的な観光スポットおよび、宿泊施設を視察し、生きた知識を身につけていただき、自信を持って商品をお客様に勧めていただくことができるようになった。
- ②モニターツアーの実施時期が先方の都合により予定より遅れたことや、10月以降の天候不順や台風の影響等により秋の観光シーズンの利用が不調に終わったことで目標とした数値を大きく下回った。
- ③上記②の理由も影響し、旅行商品の利用者増を図ることができず、路線全体の利用者増には結び付かなかつた。

### 今後の取り組み

今年度、旅行商品の利用者目標には届かなかつたものの、アンケートの結果を見ても当初の一番の目的である、販売担当者に木曽エリアの観光を取り巻く状況についての知見を深めてもらうことについては、一定の成果が得られたと思われる。

今年度は、事業年度の途中で実施となったが、来年度については、年度当初からその成果を活かし、商品の販売促進に結び付けていただけるように、タイムリーな情報提供など、サポート体制のより一層の充実を図っていく。



【モニターツアー出発】  
(バスタ新宿)

#### 【目標・ねらい】

- ①旅行商品販売担当者の、木曽エリアの観光スポットおよび、宿泊施設への知見不足の解消
- ②旅行商品の販売力強化
- ③高速バス路線の利用促進

#### ※自己評価【C】

##### 【理由】

モニターツアーの実施時期などにより、今年度の販売実績に結び付けることはできなかつたが、今年度の成果を来年度に活かしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある